

「思い込み」「思い直し」

みなさんおはようございます。

6月1日の運動会からすでに3週間が過ぎました。皆さんがそれぞれの競技・表現に一生懸命そして楽しそうに取り組む姿が今でも忘れられません。走ることが苦手だな、ダンスの動きが覚え辛いな、と不安に思っていた人もいたかもしれませんが、どうでしょう。みんながんばりましたね。運動会を通して、新しくできるようになった、自信になった、成長したなど思えることがあったと思います。

どんなことにも自分なりに一生懸命がんばろうと挑戦する皆さんの姿を見ることが、私はとても嬉しいです。一学期も残りちょうど一か月です。授業、遊び、活動などでたくさんがんばる姿を見せてください。

本題に入る前に、このスライドの植物を見てください。ハート形の葉が4枚同じところから伸びています。この植物の名前知っている人はいますか。



この植物は「アカネ」と言います。

日本の野山に生えている植物で、根を掘って乾燥させて、草木染の原料として使われてきました。古くは弥生時代の遺跡から、アカネで染めた布が見つかっています。布を染めると赤い色に染まります。この色を日本古来の色「茜色」と言います。ちなみに、赤トンボのアキアカネという名前も、この茜色のトンボというところからついていきます。

最近あまり見つからなくなった植物で、お店に出ている茜の染物は多くが西洋やインドの茜を使ったものばかりです。そのアカネが手良小学校で生えていることがわかりました。本当にこんなきれいな茜色に染まるのか、試してみたいなあと思っているところです。さてどこに生えているでしょう。特徴的な4枚のハート形の葉が目印です。探してみてください。

それでは本題に入ります。

6月10日から6月21日まで、『春のなかよし週間』でした。友だちのよさに気づいたり、お互いに認め合ったりして、手良小学校のみんながもっともっと仲良くなること。そして、自分と友だちは違って当たり前で、自分と違う友だちの気持ちを考えて友だちと接したり、自分らしさを大事にしたりして、お互いのことを認め合えること。これらのことを、縦割り清掃や道徳の授業、児童会や仙丈班の活動から学んできました。

今日は、私も、なかよし週間にかかわって話をします。

このランドセルは、だれのでしょう？



たろうさんはなこさん

まず、この絵を見てください。この黒いランドセルは、太郎さん、花子さんどちらの物でしょう？

続いて、5人のお兄さんお姉さんがいます。一番勉強が得意な人は誰でしょう。

今度は、スポーツが得意な人は誰でしょう。

どうしてそう思いましたか？

はて？

男の子が身につける物や使う物は黒や青、女の子は赤やピンク、眼鏡をかけている人は勉強が得意、運動しやすい服を来ている人はスポーツが得意って本当でしょうか。そんなことはありませんよね。男の子がピンク色の物を使うこともある

スポーツが得意な人はだれでしょう？



あきら めぐみ ともや かなえ なおや

し、眼鏡をかけている人は勉強ができるとも限りません。

このように、実際はそうとは限らないことなのに、無意識のうちにそうだと思い込んでしまっていることを「アンコンシャスバイアス」「無意識の思い込み」と言います。「血液型がO型の人はみんなおおらかだ。」「重いものは男の人が運ぶべきだ。」「私は、人前に出るとうまく話せない。」など、日常生活の中で私たちは、無意識の思い込みを誰もがもっています。

今度はこの絵を見てください。昨年、保健室前の掲示板にも貼ってあった絵です。何に見えますか？

この絵が、おばあさんの顔に見える人は手を上げてください。

いや、若い女の人が向こうを向いているように見えるという人は手を上げてください。

どちらにも見える人もいるかもしれません。

実は、この絵は見方によって、おばあさんにも見えるし、若い女の人が向こうを向いているようにも見えるのです。

今、おばあさんに見えた人は、若い女の人に見えるか、もう一度見直してみてください。逆に、若い女の人に見えた人は、おばあさんに見えるか挑戦してみましょう。どうですか？

私たちは、一度こうだと思い込むと、なかなかその考えから抜け出せないときがあります。だから、「思いこみ」はいろいろな見方をできなくしてしまう。友だちの本当の姿を見えなくしてしまうことがあります。また、自分の成長する可能性をなくしてしまうこともあります。

次に、皆さんは「鬼」と聞くとどう思いますか？ 怖い！悪いやつ！と思う人が多いと思います。一寸法師や桃太郎のように、悪い鬼を退治するという日本の昔話はたくさんあります。

では、「泣いた赤おに」というお話を知っていますか？

心のやさしい赤鬼は人間と仲良しになりたくて、こんな看板を立てます「心の優しい鬼のうちです。どなたでもおいでください。おいしいお菓子もごございます。お茶もわかしてごございます」これを見た村人が珍しがって、中をのぞきます。「なんだか、ひっそりしているぞ。気味が悪いな。さてはまじめにみせかけて、うまくだまして、とって食うつもりらしいぞ。危ない、危ない、鬼だもの。」

これを聞いていた赤鬼はどんな気持ちだったでしょう。鬼だから、乱暴者で悪いやつだと思ってしまう。これが「思いこみ」ですね。この物語では、最後は、村人も赤鬼の優しさが分かって、一緒に仲良く楽しく暮らすことができるようになるのですが、どうして仲良くなれたのかは、読んでみてください。

村人たちは、これまでの鬼に対する思いこみを改めて、赤鬼と仲良くなりました。「思いこみ」を一度取り去って、本当の姿を見ることを「思い直し」と言います。すると、これまで知らなかった友だちの姿が見えてきたり、今の自分とは違う自分が見えてきたりします。

皆さんの中に、自分は、運動が下手だと思い込んでいる人はいませんか？ 自分は物覚えが悪いと思い込んでいる人はいませんか？ 自分は友達が少ないと思い込んでいる人はいませんか？ 本当にそうでしょうか？ そう思い込んでいるのは自分だけで、本当はもっといいところがある自分がいるのではないのでしょうか。

「あの人は〇〇だ」「自分には●●はできない」などの思いこみを取り去り、本当の姿を見ようとすると、これまで見えなかった友だちの良さが見えてきたり、人に優しい、思いやりのある自分になれたり、いろいろなことに頑張れる自分になれたりしてくると思います。ぜひそんな見方に挑戦してみてください。

これまで以上に、学校が楽しいな、友だちっていいなあと思える手良小学校にしていきたいと思います。終わります。